

子どもたちと 過ごした この1年

先輩たちの声



「今」ある
一瞬一瞬を宝物に



11月最終日のある時間。教室中が、大きな拍手と優しい笑顔でいっぱいになりました。前に立っての発表が恥ずかしく、いつも泣いていた児童が、初めて最後まで泣かずに発表できたのです。私は、その児童が発表できたことはもちろん、「大丈夫」、「頑張れ」と温かく見守っている学級みんなの気持ちが嬉しく、胸がいっぱいになりました。

児童の成長は、すぐに形にあらわれるものばかりではありません。また、この出来事のように、児童同士のつながりによる成長もたくさんあります。

児童の成長の瞬間に関われる喜びを感じる毎日。児童がいつか小学校時代を思い出した時、心がほっとなれるような、そんな「今」をつくっていきたいと思います。

平成 28 年度採用 榎原市立耳成西小学校

教諭 林 結理



生徒の笑顔のために



3年生の担任としてスタートした4月から、1年が経とうとしています。無我夢中で駆け抜けたこの1年間、生徒の様々な表情に出会うことができました。学習に取り組む真剣な眼差し。体育大会で見た悔し涙。文化発表会でクラス発表を終えたときの達成感に満ちた笑顔。毎日の学校生活の中で、生徒と共に学び、共に感動し、共に成長できることが教員という職業の魅力であり、日々の取組にやりがいを感じています。

生徒と共に過ごす毎日ですが、失敗することや、思い悩むことも少くありません。そんな時でも、生徒の笑顔を励みに、目の前の生徒と全力で向き合っています。これからも、生徒の笑顔のために、全力で走り続けたいと思います。

平成 28 年度採用 宇陀市立室生中学校

教諭 山口 雅人



影響を与える
存在であるために



私はいくつかの学校での講師経験を経て、教員となることができました。採用されて過ごしたこの1年間、どうすれば自分の思いが生徒の心に響くのだろうかかと模索する毎日でした。

初めは言葉で上手く伝えようとしてもなかなか期待するような反応がみられず悩んでいました。そこで、指示を減らし、生徒の自主性に任せる機会を増やしてみると、生徒の変化に気付くことができました。「教師の思いは生徒に影響を与え、成長へと導くことができている！」と実感できた場面です。

これからも、一方的に教師の思いを伝えて響かせようとするのではなく、生徒の思いを受け止められる心もち、互いに響き合うことができるような教師を目指し、日々学び続けていきたいと思っています。

平成 28 年度採用 奈良県立桜井高等学校

教諭 西村 晃一